名古屋鉄道株式会社

オフィシャルパートナーとしての企業紹介（参加目的等メッセージ、商材、連絡先など）

名古屋鉄道は、愛知県・岐阜県を拠点とする中部圏唯一の大手私鉄として、鉄道事業を基軸に不動産、レジャー、流通など多角的に事業を営んでいます。現行の中長期経営戦略の重点テーマのひとつとして、「魅力ある地域づくり・まちづくり」を掲げ、さらに「飛騨高山エリア」を重点エリアとして明文化しています。当該エリアが「世界水準の山岳観光地」となることを目指して、後述のグループ会社と連携しながら魅力発信に努めます。

担当者（問合せ先）：文化・CSV推進部　後藤　　連絡先：052-588-0837

パートナー参加に関する基本的な姿勢、考え等

＜関心のある課題、取組＞
【名鉄バス】インバウンド旅客へ高速バスの認知度向上
【名鉄観光バス】
・インバウンド商品の強化　・高付加価値商品の強化
【奥飛観光開発】
・国内旅行の需要喚起　・滞在型・高付加価値コンテンツの造成
・情報発信の強化　・地域経済の活性化

※名古屋鉄道としては、上記グループ各社の取組に対する調整および支援を実施します

＜企業等の強み等＞
【名鉄バス】名古屋駅から目的地まで乗換え不要で快適な移動を提供
【名鉄観光バス】自社バスを利用したバスツアーの企画・販売
【奥飛観光開発】
・日本唯一の2階建てゴンドラ
・北アルプスに囲まれた360°の大パノラマ
・四季それぞれに楽しめる違った北アルプスの魅力
・年中無休で楽しめるスポット

＜目標、実現したいこと＞
【名鉄バス】
・高速バス富士五湖線利用人数：前年比105%
・高速バス上高地線利用人数　：前年比105%
【名鉄観光バス】国立公園への旅客の利便性を高めるツアー造成
【奥飛観光開発】
・滞在型コンテンツの造成
・高付加価値コンテンツの販売強化
・国内外での認知度向上

具体的な取組内容

＜本年度の取組＞
【名鉄バス】
・高速バス富士五湖線：名鉄バスWEBサイトにてロゴマークを使用
輸送人員：約7,000人（2025年1月～12月実績）前年比56%
運行本数：前年比57%
・高速バス上高地線：名鉄バスWEBサイト、ポスター、チラシにてロゴマークを使用
輸送人員：約5,300人（2025年4月～10月実績）前年比155%
【名鉄観光バス】中部山岳国立公園、伊勢志摩国立公園など複数の国立公園へのバスツアー販売
【奥飛観光開発】
・欧米インバウンド向けに新穂高ロープウェイ周辺で可能な登山・トレッキングコースの紹介チラシの作成、配布
・期間限定イベント星空観賞便の告知チラシ製作・配布※星空観賞便9月～10月の計12日間で603名の利用
・冬のイベント等を紹介するチラシの製作・配布
・濃飛バスと共同で平湯温泉のあかんだな駐車場利用車向けにロープウェイの特別割引券の配布 6月～11月で1,622名が利用

＜次年度取組予定、構想＞
【名鉄バス】高速バス富士五湖線、上高地線にて名鉄バスWEBサイト等でロゴマークを使用
【名鉄観光バス】国立公園を含めたコース設定
・＜日光＞年間10本　・＜上信越高原＞年間180本　・＜富士箱根伊豆＞年間100本
・＜伊勢志摩＞年間690本　・＜中部山岳＞年間200本　・＜山陰海岸＞年間40本
・＜瀬戸内海＞年間40本

年間合計　1,260本　12,600名目標

【奥飛観光開発】
・濃飛バスと共同で平湯温泉のあかんだな駐車場利用車向けのロープウェイの特別割引券の配布
・星空観賞便の実施
・上高地の近隣地域という立地の良さを活かした情報発信